

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	善行市民センター	階数	地上3F
建設地	藤沢市善行一丁目2番3地	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,000時間/年(想定値)
建物用途	事務所、集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年2月 予定	評価の実施日	2019年11月22日
敷地面積	3,646 m ²	作成者	(株)国設計
建築面積	1,630 m ²	確認日	2019年11月29日
延床面積	3,214 m ²	確認者	(株)国設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

環境品質 C (100) vs 環境負荷 L (50)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算: 30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆ 80%☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:☆

①参照値: 138
②建築物の取組み: 46
③①+②以外のオンサイト手法: 92
④上記+オフサイト手法: 92

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 3.5

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		その他
総合 ①安全性の確保: 耐震安全性を確保する(重要度係数1.25) ②ユニバーサルデザイン: 各階に誰でもトイレを設置。 ③環境配慮: 太陽光発電パネルの設置、LED照明の採用。		
Q1 室内環境 ①照明は、照度を500lxから750lxとしている。②建材は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に使用している。	Q2 サービス性能 ①階高: 4m、3.9mに対し、天井高さ2.7m、2.6mを確保。②雨水をトイレ洗浄水に利用。	Q3 室外環境(敷地内) 視点場とした「善行公園」からの見通しを阻害しないように計画建物を配置。道路からセットバックさせ、外周部に植栽を施している。また、遠くからも視認できるシンボル性を持ちながらも、住宅地のスケールに配慮している。
LR1 エネルギー 屋上にトップサイド窓を設け、階段を経由する自然換気設備を設置している。	LR2 資源・マテリアル 部材の再利用として、躯体と仕上げ材が容易に分別でき、躯体+軽鉄+仕上げ材のデイルを採用し、OA707+及びGL工法も採用している。	LR3 敷地外環境 照明は下方をメインとし、必要以上に広げない。照明器具はLEDを採用。色彩に留意し、近隣に配慮した設置とする。防犯に留意した照明配置とする。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される